



柳川市地域包括支援センターだより

令和3年夏号

地域包括支援センターとは…

高齢者のみなさんが住み慣れた場所で生活を続けられるように介護・福祉・保健・医療の面からのサポートを行うための総合相談窓口です。



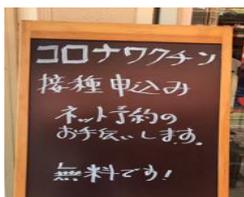
柳川市地域包括支援センター 連絡先:75-6321

(柳川市役所保健福祉部福祉課 三橋庁舎内1階5番窓口)

新型コロナウイルスワクチン接種の予約支援を行いました



令和3年4月23日から柳川市よりワクチン接種券の発送が行われています。5月19日からは年代別にワクチン接種の予約が開始されました。70歳以上の方の予約開始日となる6月9日、30日に交流館なかしまワッセで大和町中島の民生委員と地域のボランティアと共に地域包括支援センターの社会福祉士も、高齢者のインターネットでの予約支援を行いました。二日間で約30名の予約のお手伝いをしました。中島商店街では他にもインターネット予約のお手伝いをしている商店がいくつかあり、地域ぐるみで予約出来ない高齢者への支援の輪が広がっていました。



在宅医療・介護連携に関するアンケート調査を実施しました

地域包括支援センターでは、住み慣れた地域でいつまでも心豊かに暮らすことができるように医療と介護を結ぶお手伝いの他、地域の集まり等で在宅医療・介護連携について説明を行っています。その中で令和3年2月、柳川市内在住の40歳以上の男女2,000人を対象にご自身や家族の想いを知るためのアンケートを実施しました(回答数928人、回答率46.4%)。その結果を一部、裏面でご紹介します。

熱中症に注意



令和3年4月～6月の地域包括支援センターに寄せられた相談件数・内容

些細な事までお話を伺っています。お気軽にお電話下さい。

新規相談件数(令和3年4月～6月)

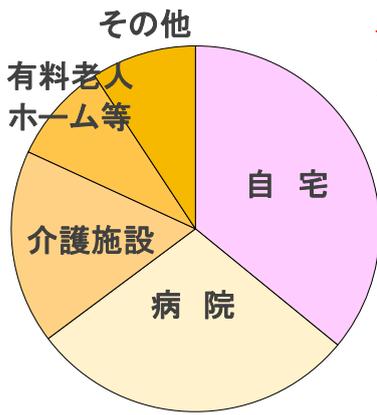
【相談者】

	4月	5月	6月
本人	8	8	6
家族	43	41	42
ケアマネジャー	5	15	5
その他	15	11	19
	71	75	72

【相談内容(内訳)】

	4月	5月	6月
介護サービス	34	46	50
住宅改修・福祉用具	9	8	6
施設入所	5	11	5
認定手続き	9	2	7
虐待	1	7	2
認知症	4	2	7
退院後の生活	4	4	7
民生委員・警察より相談	4	0	1
その他	14	5	8
	84	85	93

Q1. あなたは、病気が治る見込みがないと告げられた場合、どこで生活したいと思いますか(複数回答)。



自宅:36%
 病院:28.8%
 介護施設:17.2
 有料老人ホーム等:8.9%
 その他:9.1%

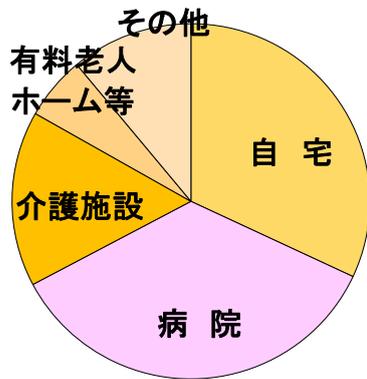


全体で「自宅」と回答された方が一番多かったです。その中で「自宅」の回答が一番多かったのは70代、一番少なかったのは80歳以上でした。

80歳以上の方は、病気になったら「自宅で生活する不安、家族に負担をかける」と思われるのではないかと考えられます。



Q2.あなたは、あなたの家族の病気が治る見込みがないと告げられた場合、あなたの家族をどこで生活させたいと思いますか(複数回答)。



自宅:32%
病院:35.3%
 介護施設:16%
 有料老人ホーム等:5.8%
 その他:10.9%

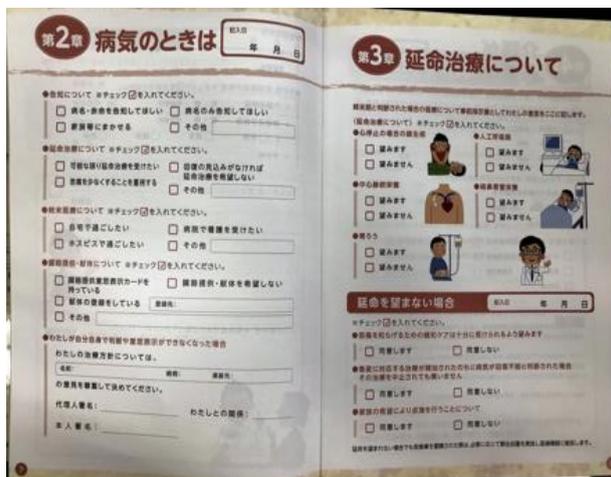


全体で「病院」と回答された方が一番多かったです。年代が上がるにつれて「自宅」と回答された方は減少しています。

家族の病状が急変したときの対応や日々の介助・介護に不安があり、この結果につながっているのではないかと考えられます。



この結果から病気になると、、、
自分自身は「自宅で生活したい」 家族には「病院で生活してもらいたい」という違いがありました。
 将来のこと、もし病気になった時のこと等を家族と一緒に話しておくことが大切だと思います。



普段話せない事を書いてみませんか？
 自分の想いを書きとめるノート「わたしの想いを伝えるノート」を無料で配布しています。お気軽にお声かけください

